



善昌寺

所在地 桐生市新里町新川 2728
電話番号 0277-74-3697
所有者 船戸 祐順氏

天台宗の開祖・伝教大師（最澄）が大同元年（806）に上野（こうづけ）を訪れた際に弟子の宥海（ゆうかい）によって創建されたと伝えられ、当時の年号にちなみ「大同寺」と称された。

新田義貞とも縁の深い寺であり、義貞の執事である船田長門守善昌が、越前藤島の戦いで戦死した義貞の首をこの寺に葬り、供養の生涯を送ったという。その後、大同寺は善昌にちなんで、「善昌寺」となった。

本堂裏には、40数基の五輪塔群があり、その中でも最も巨大で中央に鎮座しているのが新田義貞のもものとされている。ほかの五輪塔が凝灰岩製でもろいののに比べ、硬質の安山岩製で高さ2.1メートルもあり、圧倒的な存在感をみせている。

ぐんま昆虫の森にほど近い丘陵地に鎮座し、四季の花に囲まれた新里町随一の古刹である。

